

小さな一歩、大きな成長。



進路通信 第2号

令和8年5月14日(木)

大野城市立平野中学校3年部

進路担当 小森 就航

第47回体育祭「一棹昇結 ～一人ひとりの本気を合わせ、最高に熱くなれ～」

いよいよ今週末に迫った体育祭で、3年生のみなさんはどのような姿を見せてくれるのでしょうか。本番までの日数が少なくなり、焦りを見せながらも熱い思いをもって取り組む3年生を見たあとで、体育祭練習で一生懸命ついていこうとしている1年生を見てみると、この2年間の偉大さを感じます。「中学校生活最後の体育祭」で後悔しないように、やりきってほしいと心の底から願っています。

進路決定を大きく左右するのは？スタートダッシュは早めに切ろう

今週の体育祭を終えると、次は中体連大会・中文連コンクールや社会体育の大会など、とても忙しい日々がやってきます。体育祭で一生懸命頑張ると同じように、「最後の大会だから思い残すことなく、結果を残そう！」と部活動等にも多くの時間を割く人が出てくることと思います。

そのような思いは大切です。しかし、それだけで毎日が終わっていませんか？「塾には行っているけど真剣に授業を受けていない。塾の宿題もやっていない」や「チャレンジノートやスタプロをやっているけど、形だけ」という人はいませんか？ですが、それは自分の力にはなりません。

私は約15年、高校受験生と関わってきました。これまでの先輩たちで「部活動や社会体育を引退してから頑張ります」という人がたくさんいました。しかし、引退したタイミングですぐに気持ちを切り替えられますか？そんなに自分の意志は強いのですか？先輩たちを振り返ると、そのようにできた人にはほとんど出会えませんでした。むしろ、「練習がきつかったから、ゆっくりしたい」や「今日はちょっと体がだるいから休みたい」と、ずるずる先延ばしにする人が多かったように感じます。

このような状況のままで、6月4日(木)5日(金)前期中間考査や11日(水)学力診断テストを迎えて大丈夫ですか？この2つのテストは夏休みの三者面談だけでなく、「第1回進路希望調査」の大切な材料です。この2つで結果を残すことが受験生としてのスタートです。

「やらされる」状態から「自分で自分のために頑張る」という方向にシフトチェンジが必要です。では、いつシフトチェンジするのか、スタートダッシュを切るのか。今日でも遅くない。早いほうが良い。早くしないと、どんどん乗り遅れてしまいます。先生たちは早めのスタートダッシュの大切さを知っています。まずは6月の2つのテストに向けて、もっと勉強に力を注いでほしいと思います。

「全日制」と「定時制」と「通信制」の違い

福岡県内には166校もの高校があることは進路通信第1号でもお伝えしました。それぞれに特長があります。そのうち、「全日制」、「定時制」、「通信制」の違いについて説明します。

① 全日制

毎日登校し、朝から夕方まで、日中に授業を受けます。基本的には、3年間で卒業します。

② 定時制

学校によってスタイルは違いますが、午前だけ、午後だけ、夕方から夜にかけてのように、1日のうち4時間だけ授業を受けます。日々のレポート提出が進級のためのカギになるので、3年間で卒業できるとは限りません。

③ 通信制

ここ数年、通信制高校を希望する生徒がたくさんいます。通信制は学年はありません。卒業には、定められた単位を取る必要があります。そのために自分で勉強したりレポート提出をしたりします。

令和8年6月3日(水)18時から、通信制・単位制高等学校に特化した説明会を行います。

通信制高校への進学を考えていたり、興味をもっていたりする人はぜひ参加してみましよう。